



# 輛の浦学園だより



No.4  
2021年(令和3年)5月18日

## 学びをつなぐ

広島県にも緊急事態宣言が出され、昨年度の臨時休校を思い出された方も多いのではないのでしょうか。子どもたちの学校での学びを止めることのないように、また、学校での学びと家庭での学びをつなぐことができるようにと、子どもたち一人一人がタブレット端末(クロームブック)をいつでも使うことができるように取り組んでいます。

## 正しい知識を学び、将来も元気で過ごせる土台を! ～無知は無力なり～

早くも梅雨入りをしました。体調を崩しやすい季節です。学校では、4月から定期健康診断を実施しています。視力・聴力、歯科、内科、眼科、耳鼻科など、子ども達が自分の発育・健康状態を知り、自分の体について考える1つの機会です。

ところで、4月にタブレットを全員に配布しました。授業だけでなく休憩時間や放課後もよく活用しています。先日、教室で数人の男子がタブレットを使っていました。画面をしっかりと見ている男の子との会話です。

「視力は大丈夫かな？」  
「危ないと思います。」  
「ずっと力を入れて見ていると、たぶん危ないよね！」  
「ぼくもそう思う。」  
「どうするかな？休憩しながら、時々遠くを見るとどうかな。」  
「それも大切だと思う。」  
「目のマッサージでもしたらどうかな？」  
「それもよいかもしれない・・・」



一生懸命、楽しそうにやっているのですが、本人は視力には良くないと感じています。それを感じていることは貴重です。学級では使い方ルールを考えていますが、自分でマイルールを決めてやるのも良いです。

4月には、歯科検診がありました。その時、担当の歯医者さんからとても大切なことを聞きましたので紹介します。タブレットの活用と歯磨きは、つながるものがあります。

「丁寧に歯磨きができていない子どもがいます。今、特に困るようなことはないのですが、10年、20年が過ぎてくると少しずつ影響が出てきます。とにかく、毎日しっかり丁寧に歯磨きをすることがとても大切です。」

歯磨きもタブレットの使い方も、その時は大丈夫と以为っていても、将来、悪影響が出てくるかもしれません。こうしたことは、身の回りにはたくさんあります。無知は無力です。正しい知識を学び、今も将来も元気で過ごせる土台を子ども達に持たせたいと切に願っています。

タブレットをつかうときの やくそく  
～1ねんせいバージョン～

- 1 **ペンさふ**で つかう  
(せんせいや おうちの ひとの はなしを きく)
- 2 **だいに** つかう  
(おとさない はしらない きめられた ばしょで つかう)
- 3 つかう **じかん**を まもる(ながい じかん つかい すぎない)
- 4 **しせい**に きを つける
- 5 つくえの **うえ**を **かたづけ**てから つかう  
(のみものや たべものを おかない)
- 6 **かてに** しゃしんを とらない
- 7 **あとかたづけ**を する



「自分で考えたクラスルームやChromebookの使い方」を7年生生徒が自分の考えとしてクラスみんなに伝えていています。一部紹介します。

～ものすごく便利で楽しいツールなので、なんのためにChromebookがあるかを考え、今よりも3歩先のことを考えようと思いました。



花壇の満開のばら



クイズに正解、ばらゲット!

花壇のばらが見ごろです。「輛の浦」や「福山城」といた福山にちなんだ名前のばらが満開です。子どもたちに、「福山市の『ばらの日』はいつでしょう。」とクイズを出しました。正解のクラスにはばらの花がプレゼントされるとあって、早速クロームブックで調べてばらの花を嬉しそうに受け取る姿が微笑ましかったです。